

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

6年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	○思考・表現・判断は90%の到達度であるが、自分の考えを他者に発信する意欲が低く、もった考えを共有する工夫が必要である。	○学習形態を工夫し、自分の考えをやりとりする機会を増やすようにする。 ○ノートやワークシートを担当が点検し、共有することが有効である意見は全体に周知する等、支援をしながら意欲を高めていく。	
社会	○知識・技能については、概ね90%以上の到達度であるが、分かったことから推測したり、考えを広げたりする様子が見られない。	○導入を工夫し、関心をもって学習に参加するようにする。 ○学習した社会事象の全体での位置付けを理解させる。 ○学習内容と実生活との関連に注目させることで、身の回りの事象について社会的な視点で考察させる。	
算数	○立式や計算の技能を問う問題で、正答している児童の中でも、立式の意図や計算の意味を筋道立てて説明することができる児童は3割程度とかなり少ない。	○考えを交流する場面では、黒板の前で数名の児童が発表するだけでなく、小グループで互いの考えを伝え合う活動を積極的に取り入れていく。 ○解答に示す数や式の出所を言葉で補うなど、数式だけでない表現方法を示す。	

理科	<p>○知識・技能については、概ね90%以上の到達度であるが、実生活との関連を考えたり、生活に活かそうとしたりする児童は少ない。</p>	<p>○日常生活と学習内容の関連を考え、実験結果を考察することができるように学習問題を設定する。</p> <p>○ニュースの内容や身近な生活の中から実験の内容と結びつけ、児童の意見から実験方法や使用する道具を決め、実践していく。</p>	
体育	<p>○自分の課題に粘り強く取り組むことに課題がある。(全体の60%) 向上心をもって取り組むことができる児童が少ない。</p> <p>○ボール運動は好むが、器械運動や陸上などは意欲的に取り組めなかったり集中が続かなかったりする。</p>	<p>○学習資料で個々の課題や学習到達度などを明確に示し、互いの取り組みの良さや改善点を伝える中で課題を解決できるようにしていく。</p> <p>○段階別に取り組めるような複数の場の設定や個に合った指導をする。</p> <p>○児童が楽しめるようなゲームや活動を工夫し、ルールや取り組み方は児童が主体となって決めていけるようにする。</p>	
学習の時間 総合的な	<p>○学習姿勢が受動的になる児童が多く見られ、探求したいテーマの設定にも苦慮する児童が多い。</p>	<p>○大きなテーマの中で、自分の興味・関心のある分野との関連を考えさせることにより、「好き」を追究できる活動にする。</p> <p>○自分の「得意」や「好き」を再認識するために、ドリームマップなど自己理解につながる活動を取り入れていく。</p>	